



今日は「とっとり県民の日」。鳥取県は明治4年の廃藩置県で誕生しました。しかし、その後明治9年に島根県に併合され、鳥取県の再設置を願う人たちが努力した結果、明治14年9月12日に現在の鳥取県が誕生しました。

## 鳥取の先人達！

鳥取県民は地味で消極的だと、県民性を話題にした書籍などに記載されているのをよく見かけます。しかし、調べてみると数多くの鳥取の先人達が世の中をリードしていたことが分かりました。

まず、実業界で知名度の高い企業の創業者や初代社長として次の方々活躍されていました。

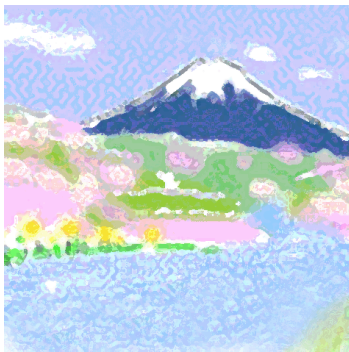
鬼塚喜八郎(鳥取市)：アシックス創業者 / 金子亮太郎(鳥取市)：明治安田生命保険初代社長  
磯野長蔵(倉吉市)：キリンビール創始者 / 足立正(境港市)：TBS初代社長

次に音楽の分野を見ると永井幸次さんが大阪音楽大学を創りました。作曲家では岡野禎一さんと田村虎蔵さんが数多くの有名な曲を作曲されました。岡野貞一さんは作詞家の高野辰之(長野県)さんと共に故郷(ふるさと)をつくられました。この曲は子どもから大人まで誰もが知っていると言っても過言ではないでしょう。とても素晴らしい曲ですから、鳥取県民も長野県民もこの曲は我が県の歌であるという意識が高いようです。岡野さんは高野さんと「春が来た」「春の小川」「紅葉」など数々の童謡唱歌をつくりました。

岡野さんは校歌もたくさん作曲され、工業高校では次の学校の作曲を担当されました。

山形県立鶴岡工業高等学校 / 群馬県立伊勢崎工業高等学校  
神奈川県立神奈川工業高等学校 / 広島県立福山工業高等学校

今年、生誕150周年を迎える田村虎蔵(鳥取市)さんもみなさんがよく知っている「金太郎」「だいこくさま」「花咲翁」「大寒小寒」「うらしまたろう」などを作曲されています。幼いときによく聞く曲だからこそ、これらの童謡唱歌はいつまでもいつまでも人の心に残り続けます。



さらに古き時代には、南北朝時代の武将であった名和長年が、流刑された隠岐を脱出して船上山で挙兵した後醍醐天皇を支え、鎌倉幕府倒幕に貢献した話は歴史ドラマでも度々登場します。

紙面の都合で一部の方しか紹介できませんが、米工の卒業生も忘れてはいけません。宮川大助さんは夫婦漫才で日本中に笑いを届けてくれました。プロ野球選手だった角盈男さんも子ども達に夢を与えてくれました。

校長 松川 明義



【行事予定】15日(金)：基礎製図検定

16日(土)：就職試験開始

週末の大会参加予定 陸上部、ソフトテニス部、硬式野球部



米工 HP